

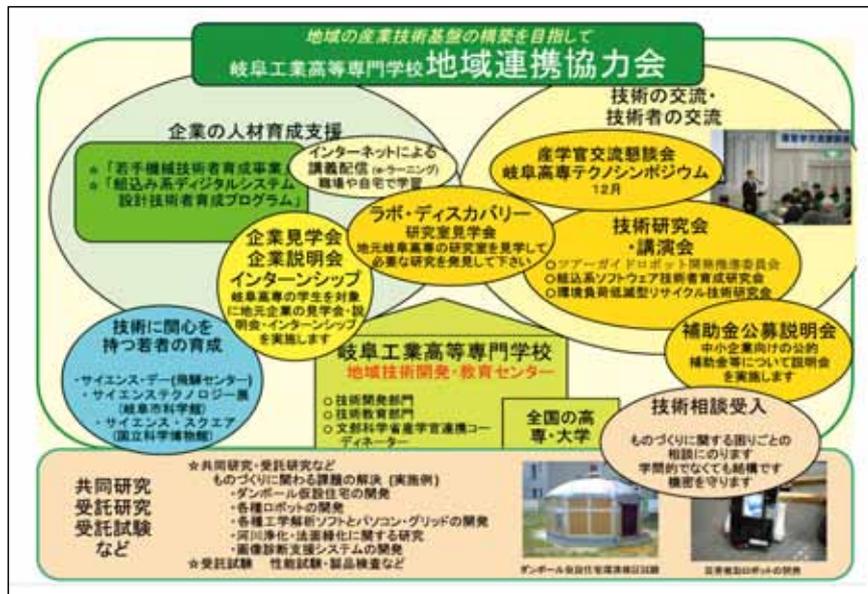
会報



第4号
2009.12.1

『防災時に役立つ野外用調理器具を寄附』

平成21年7月9日に岐阜高専地域連携協力会会員の直三工業有限会社様から岐阜高専に、防災時に役立つ野外用調理器具が寄附されました。本器具は、廃ドラム缶を再利用したものであり、環境負荷低減型リサイクルシステム技術の構築を目指している岐阜高専研究会の中の地産地消費システムに関する分野で活用されます。



岐阜高専地域連携協力会イメージ図



岐阜高専ロボコン「spica」

目次

- 役員紹介 理事 高崎 豊.....2
- 役員紹介 理事 岡部 勝.....3
- 平成22年度事業計画.....4
- 平成21年度活動状況.....4
- 平成21年度技術相談.....6
- 岐阜高専TOPICS.....6
- 岐阜高専シーズ紹介.....8
- 協会会員一覧.....11
- 会員募集.....12

役員紹介



岐阜高専建設技術士有志会会長
(社団法人岐阜県都市整備協会専務理事)

高 崎 豊

会報第4号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は、岐阜高専の1期卒業生であります。昭和43年3月卒業後、岐阜県職員となり38年間岐阜県の土木建設行政に携わり、平成18年3月退職、その後(社)岐阜県都市整備協会の役員を務めさせて頂いております。

平成19年8月末、卒業生有志の賛同と学校側のご協力も頂き「岐阜高専建設技術士有志会」が設立され、会長に就任したことから本会の理事を受諾させて頂きました。

ここで簡単に有志会を紹介します。組織は、岐阜高専土木工学科、環境都市工学科卒業生及び建設工学専攻科修了生有志の集まりです。(技術士法の国家試験に合格し登録した者で、原則として中部5県(岐阜、愛知、三重、静岡、長野)に在住又は勤務する者を対象としました。)

本会の目的は、会員相互の交流により資質向上を目指すと共に母校の技術支援等に寄与することを掲げました。

現在までに、土木関係も多くの高専生(約1500名)が社会に巣立ち、各々の分野で立派に活躍されているところですが、今回は限られた方々に母校支援等を呼びかけたものであります。

なお、母校支援の具体化につきましては、1年生の「シビルエンジニアリング入門」の授業で、講演会や現場見学を会員が交互に担当し、今年で3年目を迎えています。

私も本年10月、学校側の配慮による学科講演会で「夢をもち道をひらく」と題して多くの学生に学生時代の思い出や社会経験などを語りました。私たち1期生の恩師である菅野先生の高専教育にかける熱い想い「天下の岐阜高専をめざせ！」と先生の次女が書かれた本「いのち尽きるとも」より真面目な先生の生き方等を紹介しました。また、(生き方の基本=考え方*熱意*能力)という京セラ名誉会長・稲盛和夫氏のことばから、考え方が極めて重要として、私の人生観(温故知新や人間関係の大切さ)等を話し、最後に「人生には、三つの坂(上り坂、下り坂、まさか)がある。日々命を大切に精一杯生き抜いてください。」と結びました。

さて、今日の社会・経済情勢は極めて厳しい状況を迎えようとしている中ですが、「科学技術創造立国」をめざす日本の将来ビジョンは最重要課題でもあり、技術者教育の中核を担う高専生への期待と役割は、今後とも強く求められると確信します。

多くの皆様方のご協力により「岐阜高専地域連携協力会」が設立されましたが、産学官の連携により学校が末永く繁栄し、地域社会が益々発展することを心より願います。

会員皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



株式会社市川工務店
代表取締役 副社長 岡部 勝

「岐阜工業高等専門学校地域連携協力会」会報第4号発行に当り一言ご挨拶申し上げます。

時の経つのは早いもので協力会発足後足掛け3年を迎え、会報も4号を発行することになりました。協力会発足時世界経済は大変な熱を帯びており、日本経済にも大変な潤いを享受した時期であり、猛烈なインフレ又労働力不足も甚だしいものでありましたが、昨年9月のリーマンショックを境にして大不況に陥りました。当然協力会会員の皆様方におかれましても大小差はおありでしょうが、影響が出たものと推測されます。これは当然就職戦線にも影響は大であり内定が取り消されたとか今年度の採用計画の見直しとか学校運営にも少なからず影響が出たものと思われま

当初、地域連携協力会理事に就任時には、我が社に私に何が協力出来るのかと不安な思いが過ぎりました。間違っていたら恐縮ですが世間一般大半の方が同じではないかと思いますが、岐阜県唯一校の国立岐阜工業高等専門学校という神聖なる教育の場と言うイメージで近寄り難い思いではなかったでしょうか。又先生方も堅物の気難しい方達ばかりと言う偏見ではなかったでしょうか。勿論その様な方も中には見えるでしょうがそれは一般の会社でも一緒だと思います。

しかし、協力会会議に参加するうちに段々その様なイメージは払拭されて来ました。地域連携協力会関係者は勿論の事、諸先生方もとても気さくな方達ばかりで寧ろ関係者、先生の方が一般社

会の方はどのような取り組み姿勢なのだろうと言う思いがひしひしと感じられました。会議を重ねる毎にお互い打解けて行き当社は岐阜高専への窓口としてこの地域連携協力会を活用する様になりました。外部から見ますと協力会の年間行事を見ても分かるようにラボ・ディスカバリー、ニーズとシーズ、セミナー、インターシップ、サイエンスデー、サイエンステクノロジー等横文字の事業が盛り沢山計画されておりますが、これはある大学の先生との会話の中で同じ様な話をした時にその方はこの様な傾向は教授が外国の文献を紐解く中で格好よく見せる為に横文字を多用したのですよと話された事があります。実際に参加又は受け入れてみますとそんなに難しいものではありませんでした。当社として地域連携協力会参加後の行事としてラボ・ディスカバリーへの参加、インターシップの受け入れ、企業見学会の受け入れ、共同研究の参加とささやかではありますが行事、事業への参加をする様になりました。進むに従い受け入れの可否、内容変更の申し入れ等柔軟に対応して頂き企業負担はそんなに掛かるものではありません。

経営資源の大切なものとして「人・物・金」がいつの時代にも叫ばれますがこの地域連携協力会の中で人材育成と技術開発を視点として捉えられては如何でしょうか。折角縁あってこの地域連携協力会に参加された訳ですから広義の意味でこの人と技術を何がしかの関わりと見てはと思いません。この地域連携協力会を学校と企業の皆さんとを結ぶ架け橋として活用されれば参加の意義もより一層上がると思われま

最後になりましたが政治も経済も社会環境も大きく変化し、今後も益々厳しさを増し又難しくなると思えます。微力ではありますが今後もこの地域連携協力会に精一杯の努力をする所存でありますから皆様方の協力会行事への積極的参加と今後の活用を頂けます様伏してお願いし産官学の更なる連携と飛躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

事業計画

年月	運営	事業（共催事業含む）	会報
H21年12月		第3回岐阜高専地域連携協力会総会、交流会	会報発行（第4号）
H22年1月			
2月	第7回運営委員会		
3月		知的財産講演会 & 第5回岐阜高専ラボ・ディスカバリー、交流会	
4月	第8回運営委員会	講演会、サイエンス・デー（飛騨・世界生活文化センターと共催）	
5月			
6月			会報発行（第5号）
7月		インターンシップ受入	
8月	第9回運営委員会		
9月	第3回役員会	サイエンス・テクノロジー展（岐阜市教育委員会及び岐阜高専と共催）	
10月			
11月			
12月		第19回岐阜高専産官学交流懇談会テクノシンポジウム（岐阜高専と共催）	会報発行（第6号）

【上記以外の活動】

- 技術研究会
- 技術相談（随時）
- 人材育成セミナー
- 補助金事業説明会
- 企業説明会（随時）
- 企業データベースの構築
- 企業見学会（随時）

活動状況

●サイエンス・デーに事業活動を紹介

岐阜高専地域連携協力会は、6月28日（日）に飛騨・世界生活文化センターで開催されたサイエンス・デー～科学と遊ぼう～に本協力会の事業活動を紹介しました。

今回の活動は、飛騨地域の企業関係者に本協力会が実施している事業活動を知ってもらうために実施したもので、家族連れで本協力会のブースを訪れた参加者にポスターパネル及び協力会の会報

等の資料により事業概要を説明しました。



地域連携協力会出展ブースの様子

●講演会及び第4回岐阜高専ラボ・ディスカバリーを開催

岐阜高専地域連携協力会は、8月21日（金）に本校の図書館多目的ホール等において、講演会及び第4回岐阜高専ラボ・ディスカバリーを開催しました。

今回の講演会は、「低成長時代の企業の環境経営マネジメント」と題して畠中環境カウンセラー事務所畠中豊氏による講演、また、「ものづくり支援ツール オープンCAE『DEXCS』の可能性」と題して株式会社デンソーと本校とが共同開発したソフトウェアについて、同社野村悦治主幹及び本校建築学科柴田良一准教授による講演を行い、会員等42人が参加しました。

ラボ・ディスカバリーでは、情報処理センターにおいて、情報技術を用いた教育方法の取組み事例として、一般科目（人文：外国語学科）亀山太一教授による「高専生のためのweb 英語学習法」について、また、専門基礎小川信之准教授による「e-learning 教育」について教育内容の紹介を行いました。これらのコンピュータを使った教育システムは、岐阜高専が中心となって開発したシステムです。



ラボ・ディスカバリー（研究紹介）

●第3回企業説明会を開催

岐阜高専地域連携協力会は、9月28日（月）に本校図書館において第3回企業説明会を開催し、会員企業の人事担当者ら32人が参加しました。

この企業説明会は2部で構成され、第1部では「岐阜高専就職動向説明会」と題して第5学年担任、専攻科長及び専攻科主任から企業の人事担当者に向けて、本校の就職指導や最近の進路状況についての説明がありました。

また、第2部の「企業説明コーナー」では、来年度就職活動に取り組む第4学年及び専攻科生が、各自希望する企業ブースに訪れ、企業の人事担当者から熱心に説明を受けていました。



岐阜高専就職動向説明会



企業の人事担当者から説明を受ける学生

●第3回企業見学会を実施

岐阜高専地域連携協力会は、10月27日（火）に岐阜高専の学生及び保護者を対象に第3回企業見学会を開催しました。

今回は、金型系企業及び建設系企業を選定し、岐阜市内にある株式会社岐阜多田精機（金型事業）及び関市内で高速道路高架橋下部工事を行っている株式会社市川工務店（総合建設事業）について企業見学会を実施しました。

当日は、学生、保護者及び教職員が参加し、参加後のアンケート結果では、ほとんどの参加者から、「普段見られないものが見られた」、「企業の説明が良かった」等の回答を得ました。



株式会社岐阜多田精機



株式会社市川工務店

技術相談

技術相談件数

平成20年度	32件
平成21年度	37件(H21.12.1現在)

共同研究受入

平成20年度	19件
金額	13,199 千円
平成21年度	20件
金額	10,080千円(H21.12.1現在)

【相談窓口】 お気楽にご相談下さい。

岐阜高専 杉山コーディネーター

tel. 058-320-1245 fax. 058-320-1220

e-mail.sugiyama@gifu-nct.ac.jp

岐阜高専TOPICS

●アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2009

【東海北陸地区大会の結果】

東海北陸地区大会が、10月11日（日）に「いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナ」で開催され、岐阜高専Bチーム製作ロボットSpicaが平成21年11月22日（日）に「両国国技館」で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

受賞結果は次のとおりです。

岐阜高専A(躍る！大争奪戦)：特別賞

岐阜高専B(Spica)：技術賞・全国大会出場

【全国大会の結果】

21年11月22日（日）に東京・両国国技館において、岐阜高専（Spica）がアイデア賞及び特別賞を受賞しました。

全国大会のテレビ放映：

NHK総合12月28日(月)午後10：00～午後11：13



全国大会

●衆議院議員橋本勉氏が高専祭を視察

衆議院の橋本勉議員（岐阜高専電気工学科3年次修了）が、10月25日（日）に、榊原校長の案内で、岐阜高専の高専祭をご覧になられました。写真は、専門展内の環境都市工学科でペットボトルを使った液状化現象の実験（実演）を体験されているところです。



橋本議員（中央）、榊原校長（右）

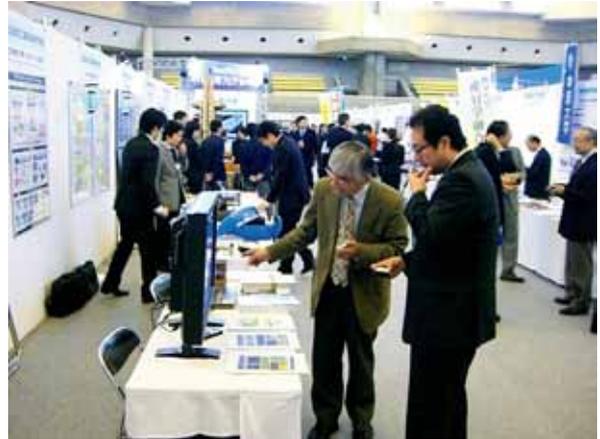
●ものづくり岐阜テクノフェア2009に出展

岐阜高専は、11月13日（金）、14日（土）に大垣市総合体育館で開催された「ものづくり岐阜テクノフェア2009」にブースの展示及びものづくり体験を実施しました。

このイベントは、岐阜県内外の企業・大学等研究機関が参加し、世界に誇る技術や製品・研究開発成果などが紹介され、延べ31,700人の入場者数がありました。本校からは、電子制御工学科福永准教授の「組み込み系デジタルシステム設計技術者育成プログラム」、電気情報工学科高野講師・機械工学科剣地講師の「技術相談に基づく試作機や実証試験」、建築学科柴田准教授が(株)デンソーと共同開発した「構造解析・流体解析ソフト」について3ブースを出展し、紹介を行いました。

また、14日には、電子制御工学科の臼井教授及び

小林助教により、小学生向けものづくり体験教室として、「SQクローラーの製作」を実施しました。



岐阜高専の出展ブースにおける研究紹介

●岐阜高専 「親子で体験！サイエンス・テクノロジー展」を開催

岐阜高専は、11月15日（日）に岐阜市科学館において本校及び岐阜市教育委員会の主催による「親子で体験！サイエンス・テクノロジー展」を開催しました。

このイベントは、学生の教育活動（ものづくりリテラシー教育実習）の一環として、学生が企画して工作教室や展示を行ったもので、当日は小・中学生及び保護者等約600人の入場者があり、各ブースに多くの子供達が訪れていました。子供達や保護者のアンケートでは、「テキストが今後の自由研究等に役に立つ」、「学生の一生懸命な指導が良かった」等の意見がありました。



「光るクリスマスツリーを作ろう」の様子



ーズ紹介

専門基礎

制御・情報研究室 教授 池田 徹之 博士 (工学)

Tel : 058-320-1324 Fax : 058-220-1220 E-Mail : tiked@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

制御, 情報, 応用数学, システム, 数理計算機実験

■現在の主な研究テーマ

1. 月面軟着陸の運動軌跡と姿勢の制御に関する研究
2. 複雑系の応答解析とシステム構造に関する研究
3. 次世代低空中および低速移動体の運動と姿勢の制御
4. 感性に基づく評価の最適手法

■技術相談分野

システムの評価, 資料の統計処理と情報抽出,
システム分析, 制御機構の基礎理論



その他書籍

- 「確率・統計」講義ノート
- 「バイオ材料基礎」講義ノート
- 刊行,及び近日に刊行される技術教育教材
- 「複素関数論」講義ノート
- 温度センサの原理
- 「応用数学」講義ノート
- 「制御基礎理論」講義ノート
- デジタル制御の講義と演習
- 「詳解デジタル制御理論の演習」

機械工学科

数理設計工学研究室 教授 片峯 英次 博士 (工学)

Tel : 058-320-1339 Fax : 058-320-1349 E-Mail : katamine@gifu-nct.ac.jp



■キーワード

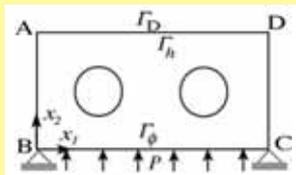
最適設計, 形状最適化, 有限要素法, CAE教育

■現在の主な研究テーマ

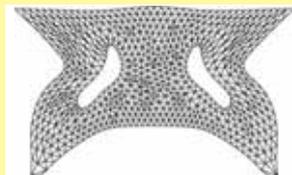
1. 弾性体・流れ場・熱伝導場の形状最適化に関する研究
2. CAE教育に関する研究

■技術相談分野

形状設計に関する分野, CAE教育に関する分野



問題設定



現状の熱変形



改善後の熱変形

熱弾性場において熱変形分布をコントロールする形状設計の解析例

図は伝熱と弾性を連成した熱弾性場の簡単な解析例であり, 上面A-Dが高温の熱伝達境界, 下面B-Cが力学的負荷を受ける低温境界のモデルに対して, 体積一定制約の下, 熱変形後の上面境界が水平面を保つように形状設計した解析結果を示している。これらの形状設計は, 熱変形を伴う工作機械, 精密測定機械等の開発において, 加工精度, 測定精度の向上を目的とした機器形状設計に役立つと考えられる。

電気情報工学科

高野研究室 講師 高野 浩貴 博士 (工学)

Tel : 058-320-1353 Fax : 058-320-1369 E-Mail : takano@gifu-nct.ac.jp

■キーワード

省エネ, CO2排出削減, 電力, 再生可能エネルギー, 配電, ものづくり

■現在の主な研究テーマ

1. 電力系統と自然エネルギーとの協調に関する研究
2. 並列計算技術を活用した電力流通経路制御手法の高速化
3. 電気工学分野における中小企業ものづくり支援活動 (ご紹介するテーマ)

■技術相談分野

電力系統工学, 電気・電子工学

例えば



取り組みは、ものづくり教育の実践、中小企業における製品開発、という二つのニーズを同時に実現することを目指す取り組みです。技術相談として寄せられる様々な課題に対して、低学年参加型という形でお応えする活動を行っています。低学年参加型とすることで、在学中に実際の製品開発に関わる機会を増やし、工学の大切さを実感してもらいたいという狙いもあります。



電子制御工学科

藤田研究室 教授 藤田 一彦 博士 (工学)

Tel : 058-320-1382 Fax : 058-320-1263 E-Mail : fujita@gifu-nct.ac.jp

■キーワード

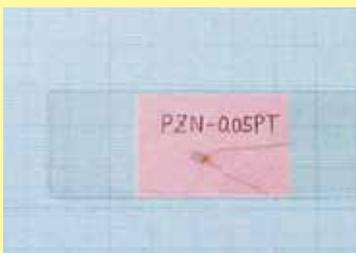
誘電体物性, 結晶材料, 光計測, FPGA回路設計

■現在の主な研究テーマ

1. リラクサー型強誘電体固溶体単結晶の育成およびマルチドメイン観察とその制御法の開発 (科研費採択テーマ)
2. 強誘電体D-Eヒステリシス測定法の開発
3. FPGAを用いた信号処理回路の設計

■技術相談分野

強誘電体材料, 結晶育成法, 結晶評価法, 計測技術, 論理回路設計



PZN-0.05PT単結晶



誘電率測定システム



ITOスパッター装置

環境都市工学科

コンクリート研究室 教授 岩瀬 裕之
博士(工学)・技術士(建設部門)・コンクリート診断士・コンクリート主任技士

Tel : 058-320-1396 Fax : 058-320-1263 E-Mail : iwase@gifu-nct.ac.jp



橋梁、道路、トンネルなどの社会資本は、これまで整備が進められてきましたが、年月とともに老朽化し、更新の時期がきています。しかし、今後公共投資が減少していき、新規の構造物を建設することが困難になっていくと思われれます。既存の構造物は劣化要因を特定し補修して寿命を延ばす維持管理が必要になっていくと思われれます。本研究室では、コンクリートを対象として維持管理の手法、補修材の開発、リサイクルなどを様々な角度から研究しています。また、コンクリート工学のための学習用教材の開発も行っています。

■キーワード

コンクリート工学, 建設材料学, 維持管理工学, 補修材, リサイクル, 繊維補強, 防水剤

■現在の主な研究テーマ

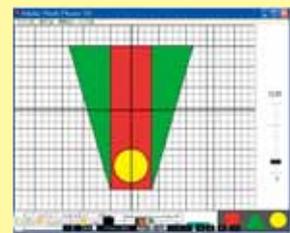
1. 防水性を持つセメント系補修材の開発
2. コンクリート深さ方向の含水率分布の計測方法
3. 建設副産物のリサイクルに関する研究
4. コンクリート工学用教育用教材開発

■技術相談分野

コンクリート試験, 材料試験, 建設副産物再利用



防水効果のある補修材



断面2次モーメントを学ぶための学習用教材

建築学科

建築環境工学研究室 助教 中谷 岳史 修士(学術)

Tel : 058-320-1420 Fax : 058-320-1429 E-Mail : t-nakaya@gifu-nct.ac.jp

■キーワード

建物空間内の居住性評価, 温熱・消費エネルギー評価

■現在の主な研究テーマ

1. 室内の温熱的快適性の評価
2. 企業との技術開発, 検証



開発_物づくり全般をサポート。

共同研究先:
 イベケン株、エコストック株

内容
 断熱気密工法、冷暖房手法、換気、空気質全般の技術サポート、実験検証。
 技術資料やプレゼン資料作成のための専門的データ。
 2009年度重点開発項目
 日射熱取得軽減のための住宅用エアフローウィンドウの開発



検証_住宅の環境工学的評価

共同研究先:
 丸平建設株

内容
 長期優良住宅先導的モデル事業(国土交通省、H21)で採択された自社商品の外部専門評価を担当。
 平成21年度検証項目
 温熱シミュレーションと、温湿度分布の測定、消費エネルギー実測。



岐阜高専地域連携協力会会員一覧（五十音順）

企業会員(232会員)

アーボ株式会社
株式会社愛岐通信
アイコクアルファ株式会社
有限会社青木エーエルシー企画
株式会社青山製材所
株式会社アクアフィールド
株式会社浅井精密
浅川建設株式会社
旭建設株式会社
朝日設備工業株式会社
アサヒフォーシ株式会社
株式会社アステス
株式会社天木鉄工
株式会社アルテック
有限会社安藤建設
石井養殖
有限会社石原建具製作所
株式会社市川工務店
一級建築士事務所I.N.O
株式会社一光開発
井納建設株式会社
社会福祉法人 井ノ口会
揖斐印刷所
揖斐川工業株式会社
株式会社揖斐自動車修理工場
有限会社上田製パン
植村熔接工業所
株式会社鶴飼組
株式会社烏骨鶏本舗
株式会社エヌティエネオमित東海支店
大垣愛陸運送株式会社
大垣瓦斯株式会社
株式会社大垣共立銀行
大垣信用金庫
大垣精工株式会社
オークマ株式会社
有限会社オートサービスイトウ
有限会社岡田鉄工所
有限会社小川自動車興業
株式会社尾関ホットランナープラン
小里硝子建材株式会社
有限会社折戸建設
株式会社オランダ製作所
株式会社介護社希望が丘
株式会社カテック
加藤繊維
甲重機
株式会社川口組
河口建設
株式会社川口タオルサービス
カワボ電気工事
川重岐阜エンジニアリング株式会社
有限会社川富建材
貴動建設株式会社
株式会社岐阜イーエローハット
岐阜ギヤー工業株式会社
岐阜県金型工業組合
岐阜工業株式会社
岐阜産研工業株式会社
岐阜車体工業株式会社
岐阜信用金庫
株式会社岐阜西武不動産
株式会社岐阜造園
株式会社岐阜多田精機
岐阜西運送株式会社
共栄工業株式会社
郡上舗道株式会社
有限会社国枝工業
国枝設備

株式会社久保田工務店
栗田産業有限会社
栗山組
株式会社グルーヴシステムズ
有限会社黒川工務店
株式会社黒田製作所
K-SystemNetwork
KYB株式会社
有限会社KENSHO
有限会社小寺鉄工所
後藤浩之
小牧木材株式会社
坂本硝子株式会社
株式会社桜井グラフィックシステムズ
株式会社佐合木材
サンヒロ株式会社
論不動産株式会社
三建塗装工業株式会社
三光化学工業株式会社
株式会社三進
サンメッセ株式会社
三友精工株式会社
三和建設工業株式会社
株式会社十六銀行
有限会社ジョイントアップ
昭和びりんと
白木建設株式会社
株式会社伸栄土木
有限会社スイホクコーポレーション
杉山建設株式会社
杉山製材株式会社
杉山土地開発
株式会社スギヤマメカトロ
株式会社鈴龍
株式会社スミケン
株式会社成建
西濃金属株式会社
西濃建設株式会社
西濃信用金庫
有限会社瀬川園
関信用金庫
創建設計株式会社
ソニーイーエムシーエス株式会社美濃加茂テック
株式会社第一インテリア
有限会社ダイゼン薬局
大東株式会社
太平洋工業株式会社
株式会社大豊建材
タイムオートマシン株式会社
太陽工業株式会社
太陽電機工業株式会社
株式会社タウン
株式会社タカイコーポレーション
有限会社高上金型
高橋建設株式会社
高山信用金庫
株式会社宝機材
株式会社瀧川建設
竹田設計工業株式会社
田中建設工業株式会社
田中工業株式会社
田中造園土木
株式会社谷汲碎石
樽久有限会社
株式会社チエックハウス
中央木材株式会社
中京実業株式会社
中京ヒューム管株式会社
司不動産有限会社
株式会社TYK

株式会社テムシステム
株式会社電算システム
天龍工業株式会社
株式会社トゥステップ
東海石材工業株式会社
株式会社東海パウテックス
東海理研株式会社
東海ホール株式会社
東濃信用金庫
株式会社東洋スタビ
株式会社TOHOTEC
トキワ精工
徳田工業株式会社
株式会社トミタ
株式会社トヨタケララム
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
直三工業有限会社
長澤木工製作所
株式会社中島工務店
株式会社ナガセインテグレックス
有限会社中徳造園土木
中日本技工株式会社
有限会社中山建材
ナガラ金属株式会社
有限会社ニシカワ
㈱日榮商事
有限会社日テム
株式会社日商
日東工業株式会社
日本インシュレーション株式会社
日本工業株式会社
日本システム開発株式会社
日本襖工業株式会社
有限会社根尾開発
根尾ゴム工業所
有限会社根尾自動車工業
有限会社ネクステージ
株式会社野村建設
有限会社橋本組
八幡信用金庫
株式会社光製作所
株式会社樋口製作所
株式会社ブイ・アール・テクノセンター
BUZZ
福田設備工業株式会社
株式会社麩兵
株式会社フレックラム
北誠商事
北斗株式会社
有限会社細野建設
株式会社堀部工務店
堀伊木材株式会社
株式会社マーク
有限会社前川工業所
有限会社松田刺繍
有限会社マブチ産業
有限会社丸島工務店
株式会社丸順
株式会社マルダイ
丸高コンクリート工業株式会社
丸平建設株式会社
株式会社丸万不動産
株式会社マルミ建設
株式会社まんだら舎
三田工業有限会社
三谷商事株式会社岐阜支店
株式会社武芸川精工
ムラテックC.C.S株式会社
株式会社メイショー
株式会社メーカケフ

株式会社メモリア
株式会社本巢畜産
本巢三二
森鉄工
森正男税理士事務所
森松工業株式会社
守谷工業
株式会社森脇工業
文殊丸五製瓦工場
安田株式会社本店
山口精機工業株式会社
山下登記測量事務所
山田農園
山村碎石株式会社
株式会社ユタカ電子製作所
よこひら設備
株式会社横山製作所
有限会社吉田鉄工所
有限会社奇棟瓦工事店
株式会社ラフォンテ
株式会社ラボテック
有限会社理光物産
レシップ株式会社

個人会員(15会員)

宇野 哲夫
江口 真澄
岡部 勝
荻須 雅夫
斧田 巖
国枝 重一
倉知 常宣
神山 清司
小森 弘
島崎 響
高崎 豊
新川 隆
橋浦 正史
堀 敏広
山田 清二

公共団体(25会員)

池田町長
池田町商工会会長
揖斐川町長
揖斐川町商工会会長
大垣町長
大垣商工会議所
大野町長
大野町商工会会長
各務原市長
各務原商工会議所会頭
北方町長
北方町商工会会長
岐阜県知事
岐阜県金属工業団地協同組合
社団法人岐阜県経営者協会
社団法人岐阜県経済同友会
社団法人岐阜県工業会
財団法人岐阜県産業経済振興センター
岐阜市
岐阜商工会議所
国立大学法人岐阜大学長
瑞穂市長
瑞穂市商工会会長
本巢市長
本巢市商工会会長



会員募集

岐阜高専地域連携協力会は、地元企業等と岐阜高専との連携及び地元企業等相互の交流を深めるとともに、同校の教育・研究に協力することを通して地域の産業並びに文化の振興を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的として平成19年12月に設立されました。

事業活動として、講演会・企業説明会・企業見学会・岐阜高専ラボ・ディスカバリー、交流会、人材育成事業及び技術相談・共同研究・受託研究等の促進を行っております。

つきましては、上記の事業活動にご理解、ご賛同をいただき、皆様の今後の経営・業務及び地域連携への一助として、本協力会に是非ご入会くださいますようお願い申し上げます。

会費（年会費）

- 企業・団体・法人会員 1口 10,000円
- 個人会員 1口 5,000円
- 特別会員(地方公共団体及び公益法人等)免除。

入会をご希望の方は、岐阜高専地域連携協力会事務局へご連絡をお願い申し上げます。



編集後記

岐阜高専地域連携協力会は、ようやく3年目を迎え、会報第4号を発刊することができました。これもひとえに会員の皆様方のご支援・ご協力のお陰であります。

論語に「忠恕（ちゅうじょ）」という言葉があります。忠とは理想を追求し、進歩向上を求めて止まぬ精神・努力を言い、恕はそれに伴って一切を包含し、育成していく仁愛の寛容（思いやり）の意味だそうです。

協力会会員の皆様方には、この忠恕の精神により、この不況の荒波を乗り越えていただきたいと存じます。

本協力会としても会員の皆様には有益な事業ができるよう一生懸命に努力させていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員の皆様のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

お知らせ

岐阜高専地域連携協力会会長（西濃信用金庫・理事長）橋本征四郎様が10月23日に永眠されました。（享年66歳）
ここに謹んでお知らせ申し上げます。

岐阜高専地域連携協力会事務局

〒501-0495
岐阜県本巣市上真桑2236-2
岐阜工業高等専門学校企画室研究協力係
tel.058-320-1213 fax.058-320-1220
e-mail : ken1@gifu-nct.ac.jp

本協力会のHP
<http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/>